

令和元年度第1回 茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

テーマ：

これからにつなぐ「環境」を語ろう

～2030年の私たちにどのような「環境」を届けますか～

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ	1
1 市民討議会の実施概要	
(1) 日程等	2
(2) 討議テーマと情報提供	2
(3) スケジュール	2
(4) 参加者内訳	3
2 市民討議会の討議のヒント	
(1) 討議1	4
(2) 討議2	4
(3) 討議3	4
3 市民討議会の提言のまとめ	
(1) 討議1	5
(2) 討議2	8
(3) 討議3	11
(4) 参加学生の感想と意見	14
4 アンケートの結果	
(1) 事前アンケート	16
(2) 事後アンケート	19
(3) 不参加者アンケート	22
5 講評	28
6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き	30
あとがき	31

実行委員長あいさつ

2019年10月26日(土)、富士山がとてもきれいに見える高砂コミュニティセンターの3階に30名の参加者を迎え、茅ヶ崎市市民討議会が開催されました。

この日のテーマは、「これからにつなぐ『環境』を語ろう ～2030年の私たちにどのような『環境』を届けますか～」でした。茅ヶ崎市の次期「環境基本計画」の策定作業に役立つような基礎資料を、実際の市民の声によって集める、このような市民討議会を目指したからです。「環境」という言葉には、実に多様な意味や対象が含まれます。つまり、今回、この「環境」の内容を市民のみなさまの「語り」から抽出してみようという、重要な「討議」の取り組みを行ったわけです。そして、この抽出内容から、環境基本計画の方向性を明確にし、自治体に茅ヶ崎ならではの計画づくりを進めてもらう意図が込められた市民討議会でした。

当日は、参加者には5つのグループにわかれていただき、3つの内容について討議が実施されました。討議1は「語り合いましょう～これが茅ヶ崎の環境イメージ～」、討議2は「『次につなげたい』茅ヶ崎の環境デザイン」という話題でした。この2回は、途中で昼食をはさみましたが、同じメンバーで話し合いが続けられました。そして、最終の討議3は、「『関わり』から考える伝えるべき茅ヶ崎の環境」と設定されました。いずれも、参加者の日頃の思い、考え方、理想などが語られ、とても充実した話し合いだったと感じました。ご協力下さった参加者のみなさまには、あらためて、心よりのお礼を申し上げます。

もう一方で、本市民討議会の成立にご尽力下さった方々にも、感謝を伝えたく存じます。まず、文教大学名誉教授の藤井美文先生には、討議の方向付けのため、常に適切に情報を提供していただきました。また、三者協働体制のもと、茅ヶ崎市、公益社団法人茅ヶ崎青年会議所、文教大学から実行委員となって下さった方々は、バランス良く企画・運営に携わって下さいました。こうしたサポートにより、市民討議会の円滑な進行と成功につながったと思います。

市民討議会の最後に、参加者のみなさまにいくつかの質問をしました。同じ市民として話し合ったこと、茅ヶ崎の環境について語り合ったことを、ほぼすべての方が「おもしろかった」と答えて下さいました。討議に参加して下さったばかりか、対話のチャンスを充実感とともに振り返って下さり、実行委員一同たいへんうれしかったのを覚えています。本書は、この日の「討議」を記したものです。ぜひ、ご一読いただきたく存じます。そして、茅ヶ崎市にこうした対話の文化が、さらに深く根をはることを願っています。

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会委員長
文教大学 国際学部
山田 修嗣

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

ア 日 時	令和元年10月26日(土)	10時00分～16時00分
イ 会 場	高砂コミュニティセンター	3階ホール
ウ 参加者	30名	
エ 主 催	茅ヶ崎市	
オ 企画運営	茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会	

(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

ア 全体テーマ

「これからにつなぐ『環境』を語ろう

～2030年の私たちにどのような『環境』を届けますか～

イ 個別テーマ

討議1 「語り合いましょう～これが茅ヶ崎の環境イメージ～」

討議2 「『次につなげたい』茅ヶ崎の環境デザイン」

討議3 「『関わり』から考える伝えるべき茅ヶ崎の環境」

ウ 情報提供

討議1 「環境観の変遷」

討議2 「地域の環境計画や行政評価に果たす市民の役割」

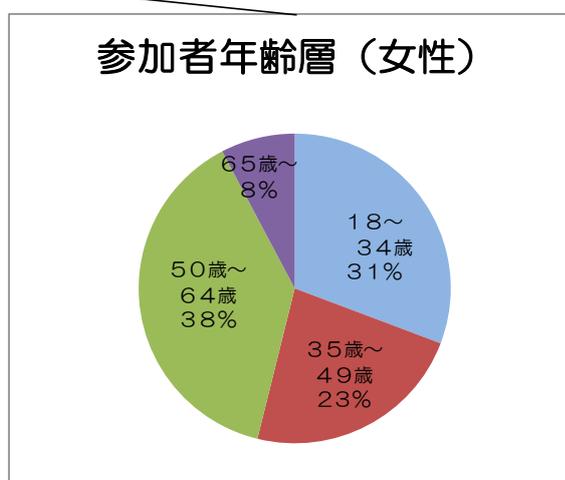
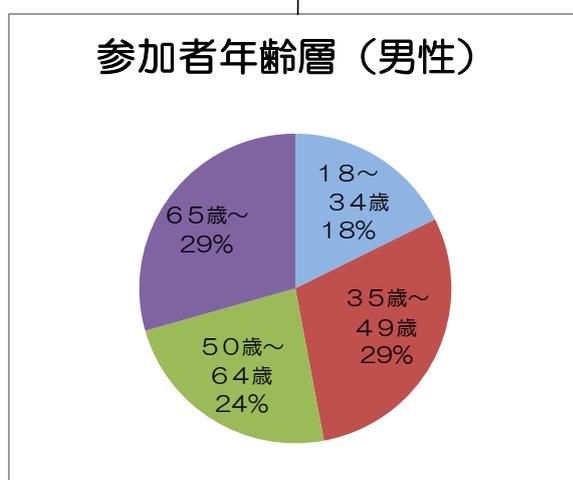
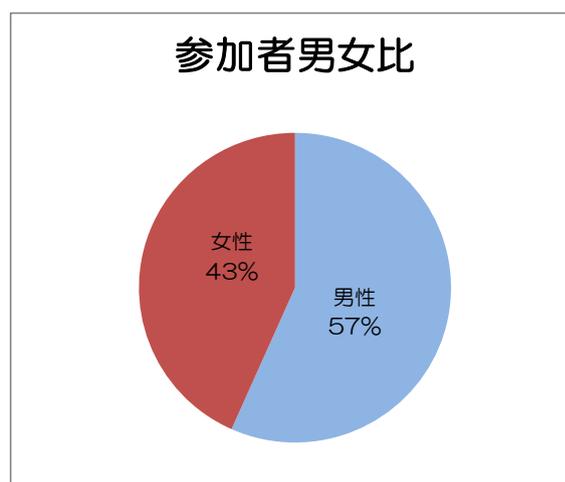
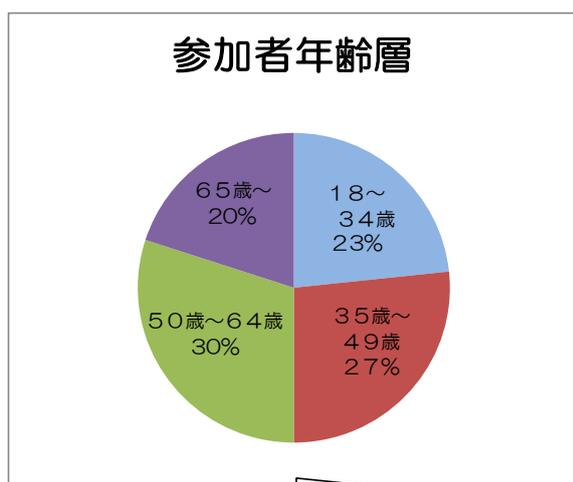
討議3 「現状の市民参加の限界と、新しい像の模索」

(3) スケジュール

10:00	開会、実行委員長挨拶
10:05	市民討議会の概要とテーマの説明
10:20	主催者(市長)挨拶
10:25	アイスブレイク
10:35	情報提供①
10:50	グループ討議①
11:40	【昼食】
12:30	情報提供②
12:45	グループ討議②
13:35	【休憩】
13:40	グループ討議内容発表
14:05	【休憩】
14:15	情報提供③
14:30	グループ討議③
15:20	【休憩】
15:25	グループ討議内容発表
15:45	1日の振り返り
15:55	閉会

(4) 参加者内訳

	抽出数	参加者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	1000	3	4	7
35歳～49歳	600	5	3	8
50歳～64歳	350	4	5	9
65歳～	250	5	1	6
合計	2200	17	13	30



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1「語り合しましょう～これが茅ヶ崎の環境イメージ～」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前、お住まい（地区）
「環境」イメージの確認と、そのイメージに付随する「理由」	気になる「環境」、お気に入りの「環境」などを挙げてください。どのようにその「環境」が気になっていきますか。なぜその「環境」がお気に入りなのか。
茅ヶ崎として関心を持ち続けるべき「環境」の仕分け（キーワードの抽出）	これまで出たキーワードのうち、「私たち」が「日々の暮らし」において関心を持ち続けるべきもの、取り組むべきものを挙げてください。

(2) 討議2「『次につなげたい』茅ヶ崎の環境デザイン」

内容	討議のヒント・きっかけ
討議1の「環境」が大切・重要だと感じる理由	討議1で出た「大切な環境」は、なぜ大切で重要なのでしょうか。（守るべき、残すべき茅ヶ崎の環境のエッセンス）
未来につなげたい環境像（環境デザイン）	その「大切な環境」を、今後茅ヶ崎市民としてどうしていきたいのでしょうか。どのように受け継ぎたいのでしょうか。

(3) 討議3「『関わり』から考える伝えるべき茅ヶ崎の環境」

内容	討議のヒント・きっかけ
「環境」に対して今の私（たち）にできること	将来の環境イメージに向けて、私たちには何ができるのでしょうか。
「環境」に対して、今後私たちができる手伝いや貢献	私たちには、今後、どのような貢献や役割（環境との「関わり」）が期待されるのでしょうか。

3 市民討議会の提言のまとめ

(1) 討議1 「語り合いましょう～これが茅ヶ崎の環境イメージ～」

討議1では、自然環境にとどまらず、身近なものからそうでないものまで様々な「環境」のイメージについて討議。討議の中で広がった「環境」のイメージから、私たちが取り組むべき「環境」と思われるものを抽出。

グループ1	グループ意見
(1) 「環境」のイメージ	みどりの自然（減ってきている）/年々気温が高くなっている/気温変動により生活にエアコンが必須になった/住む環境の優先順位が上がった/環境への考え方を一人一人が考える必要がある/ごみ多い(ポイ捨て)/ ポイ捨て(観光地としても改善すべき)/ ごみの分別の仕方が分かりづらい/犬が多いイメージ/道路の問題（渋滞多い・道が狭い）/海・里山/紙問題（使いすぎ）・資源対策/ビーチクリーン、エコ袋、省エネ（自分にできることはやっている）→日ごろ気を付けていることがどう環境につながっているかわからない/環境活動に参加してもどこにつながっているかわからない/遊びが制限されていることなどにより自分の環境が狭くなっている/フードロスの問題（外食で食べ残しをして申し訳なく思う）/リサイクル容器（返却の時に環境の事を考える）/海風を感じる/海のイベントが多い/高齢者が多い/台風の影響/遊び場が少ない/子どもと一緒に環境を考えられたらいい
(2) 私たちが取り組むべきと思う環境、抽出したキーワード	海(ビーチクリーンなど目で見てわかるような活動に子どもと参加することで環境について考えていけるとよい、きれいな海の実現)/いつやっているのか広報に力を入れるべき/資源の問題（紙の無駄遣いをなくす/ミールキットなど再利用できるものを回収するスーパーなどがもっとあるとよい）/交通（車よりも電車や自転車を利用する、交通ルールが悪、エコカー利用、駅が汚い）/貢献できる制度

グループ2	グループ意見
(1) 「環境」のイメージ	サイクリングロードの崩壊/自転車が多い人と生物が生きていくのに環境は必要/茅ヶ崎といえば「海」のイメージがある/ごみの分別がざっくりしている/災害時の行政の対策が整っていない/海のごみが汚い/ボランティア活動をしている/道が暗い/安全性が心配/海が気になる/生物で獲れるものが変わってきている/高潮の被害が多い/台風の影響が大きかった(環境自体変わってきている)/ごみの問題は外国人もだから難しい/ごみ捨て場が汚い(カラスが汚す)/砂浜が短くなってきている/湘南の海感が無くなってきている/ごみの捨て方・ルールが分からない/税金の関係で道など狭いのは仕方ない/歩道の草が茂りすぎている/茅ヶ崎は自転車のイメージがありエコだと思ふ/歩いたりしている人も多い/アパート、マンションが増えると責任感がなくなりごみ捨てが適当になってしまう/ごみ捨ての細かいマナーが把握しきれていない(回覧板が行き届いていない、自治会自体に入っていない)/茅ヶ崎はなんだかんだ綺麗であると思う/狭いや汚いは税金の関係で仕方ない/自転車専用の道がもっと増えればいい/茅ヶ崎駅の南と北で海に対する意識が違う(南側に住んでいる人は海が気になる)/整備したいが予算が足りない/ごみと防災が心配/街灯がない地域には街灯をいち早くつけるべきであると思う/ごみ袋の有料化
(2) 取り組むべきと思う環境、抽出したキーワード	道路の整備（道の広さ、明るさ、防犯面、サイクリングロード）/災害時の対応（台風や地震の時の避難場所、ハザードマップ、避難訓練）/湘南の海を取り戻す（砂浜、海辺のごみ、ボランティア活動）/ごみ問題（ごみ出しのルール、住民のマナー、カラス、ごみ袋の有料化）

グループ3	グループ意見
(1)「環境」のイメージ	住環境(家の近所)→空き家・空地問題/道路状況→騒音問題、自転車が多い、道の縁石が危ない/子育て環境→公園や遊び場の減少/地球温暖化(夏が年々暑くなっている)→夏に子どもが運動できない/紫外線量の変化/雨量の増加/サンゴを守るための活動(海中での日焼け止め不使用)/そもそも環境に関する知識が不足している→環境に関する学校教育を増やすべき→知識量により環境問題への意識が変わる/学校での社会見学でゴミ処理施設を訪れ環境について学習/昔と今でゴミの分別意識が変化した(昔と違い分別が細分化された)/さらに地域によって分別意識に差がある→バラつきを統制し日本全体でゴミ問題への意識を高める必要がある/ライフスタイル(仕事)によりゴミを出せない/情報や手段の不足→市のガイドラインがほしい/分別したゴミをどう再利用しているのか不透明/自治会の役員などある程度の役職に就かないと情報が手に入らない/洗剤を使用→水質悪化/市民→アパート含め分別を徹底する/行政→情報や手段の発信/元から住んでいる人と転入してきた人とのゴミへの感覚の違い(ルールの理解不足)/海辺でのゴミ拾いは継続するべき/サステナビリティについて知識をつける/ゴミ置き場の網の設置やリサイクルにもお金がかかる→全てのごみを燃やしたほうがいいのか/ゴミ袋を有料化しゴミ袋を減らす
(2) 取り組むべきと思う環境、抽出したキーワード	住環境/情報共有の場/子育て環境

グループ4	グループ意見
(1)「環境」のイメージ	ゴミ出し(生ゴミは減らせてもプラスチックはかなり出る)/冬は枯葉も出てゴミになる/個人の努力では限界がある/ゴミ収集/土地柄ゴミを出しやすい環境にいる/カラスよけゴミネットなども置けない場所もある/台風でマイクロプラスチックの増加/海のごみは8割が川からくるもの/川へのごみのポイ捨て、釣り糸や針が捨ててある問題もある/レジ袋の有料化/茅ヶ崎は細かくゴミを分類していると思う/生ゴミは努力次第で減らせる/川を気にする機会が増えた/相模川の氾濫/自然的遊びがそもそもない/道路や花壇などにタバコの吸い殻がある/夜は人の目が少ないため捨てやすい環境になってしまっている/台風への危機感/夜の避難などは難しい/人がゴミごみしていない/せかせかしていない/海を見に行くこともできる/緑も公園もある/景観が良い(リラックスできる)/星が良く見える場所がある/富士山が見える/ちょっとした区画に元々ある木を残しているのは良い、お寺や神社もある(まちづくりとして)/放棄された自然は良くない(管理は人間が関わる必要がある)/回覧板に関して(基本見ない、見た方が良いのは分かっているが共働きだと難しい)/環境教育/子どもの遊びが変わってきている/自然的なあそびが少ない/規則があると遊びの自由度も減る(ボール遊び禁止など)/情報を明確化しないと把握できない/全員が分かるような資料の作成/専門的な情報も必要/情報が分かれば思考が深まる
(2) 取り組むべきと思う環境、抽出したキーワード	海(マイクロプラスチック・景観としての海)/ゴミ問題(ゴミ出し・分別・ポイ捨て)/環境の教育/市との連携/情報の少なさ

グループ5	グループ意見
(1)「環境」のイメージ	<p>車や歩行者の環境を整えてほしい、歩きにくい、車が通りにくい(海辺・遊歩道・歩道)/緑が減っている(森林伐採)/公園が少ない/近所の公園が減った/公園が少ないことによって土地の値段が安くなっている/子どもの数が減っている/台風で相模川が氾濫した(ゲリラ豪雨)/物流配送センターやソーラーパネルが茅ヶ崎の航空写真で見られる/ソーラーパネルも緑地もどっちも大切/枝を切らない運動をやっているのを聞く/工場と公害/学校の教育環境/リサイクル活動/分別の種類が増えている/アレルギー/海岸のごみが広がっている→日曜日のビーチクリーン活動/海上プラスチックの問題(クジラのおなかの中のごみ、ペットボトルのキャップ)/マイボトルがあると良いと思う/里山公園(ホテルが帰ってくることをテーマにしていたが無くなっていた)/重要な環境がある(様々な虫がいる、清水谷)^{やと}/子どもが自然と関われる場がある/農作物がある/産業廃棄物/松の木(重要文化財)/消えた桜通り/人間に慣れた鳥が多い/ペットの犬の糞の問題(飼い主のマナー向上が必要)/会社でも分別に取り組んでいる/緑のカーテン/通学路の子どもの自転車/サーフボードを抱えて自転車に乗る人が危ない/CO2を減らすために緑を増やしたい/首輪のない犬は災害時大変/プラスチックがあまりリサイクルされていない/ヨーロッパに倣いCD・電池もリサイクルすべき/子どもへ分別の教育をすべき/家の中でも多種のリサイクルボックスを作るべき/リサイクルがお金になるようにしたい</p>
(2) 取り組むべきと思う環境、抽出したキーワード	<p>子どもの教育/緑地を増やす/生き物/プラスチックの問題/道路の整備/海</p>

(2) 討議2 「『次につなげたい』茅ヶ崎の環境デザイン」

討議2では、討議1で抽出した私たちが取り組むべき「環境」と思われるものに関して討議。

抽出された「環境」のキーワードがなぜ大切か、どう重要かを話し合い、茅ヶ崎市民として「大切な環境」をどのように受け継ぎたいかを討議。(討議1、討議2はグループメンバーのシャッフルなし)

グループ1	グループ意見
(1) 抽出した「環境」はなぜ大切・重要なのか	綺麗だと癒される/海、自然、サザン(という茅ヶ崎的文化)を守っていくためには個人や企業の努力が必要/イベントを行う際に汚いと印象が悪い/自分の生活地域に誇りを持つため/自分が住んでいるから/子孫に向けて帰りたいと思ってくれる場所にしたいから/地元愛、自慢できる街にすることができるから
(2) 大切・重要だと思う「環境」に関してどうしていきたいか、どのように次につなげるか	緑を多くしてほしい(グリーンカーテンなど)/ごみの分別に対して意識を持ち続ける/自分の住んでいるところを自慢できるような場づくり(子孫やその他に対して)/茅ヶ崎を悪くしないように保全や整備が必要/アットホームな環境、ゆったりとした時間、楽しめる海/個と行政がやっていることをわかりやすくするべき/公園、海辺をラフにおしゃれに/地元民じゃない人に対して海の重要性を伝える機会も必要なのではないか/行政に意見を言える、受け取ってもらえるようにしてほしい/行政だけで道の駅やゴルフ場をつくらないでほしい/治安が良い→人とのつながりがある→意識を高めるきっかけになる/ごみ分別リレー(「母は間違えられない」というプレッシャーから日常生活に意識づけすることができる)/普段から地域丸ごと気軽に参加できるようなイベントを企画する/教育としてごみ取りゲームなどは茅ヶ崎限定でないから広まりやすい/ホームページの利用(意見、要望) SNSなど自分たちが動く必要がある/「私」から「私たち」へ活動を広げていくことが大切/「楽しく」も大切な要素→持続可能につながる

グループ2	グループ意見
(1) 抽出した「環境」はなぜ大切・重要なのか	ごみ問題は土台部分であるのと同時にシステム・モラルの問題→周知させることが大切だと思う/環境への関心を持つということであるため/環境への関心の入り口がごみ問題であるから/行政と市民のコミュニケーションをとるため/ごみと海は日常なので関心がある/住みやすいまちになってほしいため/緑がいっぱい公園がある環境は必要だと思う/茅ヶ崎のブランドは「海」だから/茅ヶ崎に来る観光客は海を目当てにくるから/茅ヶ崎ブランドの確立のため/各住民が責任をもって綺麗にする努力をすることで茅ヶ崎を魅力ある街にできると思う/茅ヶ崎に観光で来た人にも見せつけられる環境への取り組みが大切である/健康を意識して生活している人が多いから道の整備は大切である
(2) 大切・重要だと思う「環境」に関してどうしていきたいか、どのように次につなげるか	情報の共有をする(パブコメ、SNSなど)/市民の声をどうすれば行政に届けられるのかわからない/市民の情報や意見が集まりやすい環境を整える/観光で茅ヶ崎を訪れた人にもわかりやすい街の説明など不安にならない工夫が必要/茅ヶ崎を訪れた人に自慢できるような仕組みづくりをした上で SNSなどを使用しその情報を拡散させる/メール・ファックスなどを行政に直接送れる仕組みがあればいい/茅ヶ崎というまちのイメージを統一させることが大切/ごみの問題は個人の問題だが市として何かに取り組み減ると思う/市民の意識を改善させる/市民と行政とのコミュニケーションが大切/積極的な市民参加/イベントを増やして参加しやすい環境を作ることで意識改革をする/茅ヶ崎全体で海に対する意識を持てると良い/市民で同じことに取り組む・目標を作る/全国に自慢できるものを作ってそれに市民と行政で向かって行く

グループ3	グループ意見
(1) 抽出した「環境」はなぜ大切・重要なのか	未来に子どもたちが住みやすい環境を残すため/子どもたちが安心して成長するため/今の自分(母親という立場)に一番身近な環境だから→子どもに環境のことを教えることができる/子どもたちに茅ヶ崎に対する誇りを持ってもらう
(2) 大切・重要だと思う「環境」に関してどうしていきたいか、どのように次につなげるか	中高生が問題提起できる環境づくり/ゴミ問題の細かい教育を施す→選挙や政治に対する興味も高まる/サーファーの人々に海辺のゴミ問題に対する意識を高めてほしい/現時点で子どもたちに教えられること/ゴミの出し方・分別の仕方・茅ヶ崎から他の地域にいい影響を拡げられるように取り組む/小学生の夏休みの自由研究で環境を取り上げる(例:海水に含まれるマイクロプラスチックの量を計測→水産にもかかわってくる)/給食で茅ヶ崎産の食品を扱う→地元愛の形成、地元の環境を保護する姿勢を育てる/ゴミ袋を作るためにもコストがかかる→他の市と協働しゴミ袋を統一すればコスト削減につながる可能性があるのではないか/寒川ではゴミ袋に一般企業の広告が載っている→広告費を徴収することでコスト削減/市民の意見がどうすれば行政に届くか不透明→市民と行政の情報共有の場を設ける

グループ4	グループ意見
(1) 抽出した「環境」はなぜ大切・重要なのか	茅ヶ崎は海のイメージがある/海はアピールできる部分でもある/(特に海の)ゴミ問題を解決していければと思う/茅ヶ崎=海と考えていたが海とゴミ問題のつながりをあまり気にしていなかった/身近なところでの問題が多かった→身近な問題をどうしていくか/海や自然の問題をあまり気にしていなかった→そこに目を向けるべきと思った/海をテーマに環境を考える/海は茅ヶ崎だけで収まらない問題/海の問題は8割が川からという話題があった→相模川流域全体の住民の問題ではないか/海のマイクロプラスチック問題→海はそこから派生した問題がある(越境汚染)/市全体でリサイクルに取り組むべきではないか→循環させる(持続可能)/分ければ資源・混ぜればゴミ/個人レベルでもできることがある/包装に関してももっと減らして良い部分はある
(2) 大切・重要だと思う「環境」に関してどうしていきたいか、どのように次につなげるか	「豊かな環境」が重要/海がきれいなまちは豊かさにつながるのではないかと/豊かな自然の良さを、将来子や孫に伝える効果的な方法が分からない (どのように次につなげるか) ゴミの量やその増減を市にのせてもらう(掲示板やネットを使って)/処分の内訳を発表する/多種多様の発信/子や孫から学ぶ/各家庭の心がけも大切/子どもの世代が学校で学んで親に伝える/環境に良い事をしたら表彰の場を作っても良いのではないかと/自治会単位で環境に関することで競い合うのも良いのではないかと/ポイ捨てしないこと・やめることが海を守ることにつながる/学校教育も啓発の手段になるのではないかと

グループ5	グループ意見
(1) 抽出した「環境」はなぜ大切・重要なのか	趣味・健康づくりとしての散歩を安心して楽しみたいから/海が近くても津波などを恐れず安心して過ごしたい/茅ヶ崎のおいしい魚をこれからも茅ヶ崎の名物にするために漁業が盛んであってほしいため/子どもたちがのびのびと遊べる空間が必要だから/茅ヶ崎は鳥が多く自然が豊かと感じたから残したい/生命力は生活するうえで何に対しても必要→自分にも自分の周りにも活気づいてほしいから

<p>(2) 大切・重要だと思ふ「環境」に関してどうしていきたいか、どのように次につなげるか</p>	<p>分別は大人ができていないと子どもに伝えられない・説得力がない→自分たちの生活からお手本になれる行動（分別、マイバック、マイボトルなど）をしていく/プラスチックやペットボトルなどがごみとして排出されないようにしたい/3Rを心がける/公園のトイレの糞尿をそのまま公園の植物の肥料として処理できるような装置を公園のトイレにつけてほしい/プラスチックを使わない生活をしてまちでプラスチックゼロ宣言をする→マイはしなどマイ〇〇を増やし習慣にする/微生物が分解できるプラスチックを使う（値段は高い）/環境に配慮した活動に取り組んでいる企業を誘致して茅ヶ崎市で活動のお手伝いをする/茅ヶ崎の商店街では野菜はビニールに包装しない文化を作る→それを茅ヶ崎から引っ越す人に広めてもらう・引っ越してきた人に伝えたりする/観光客にもパンフレットやのぼりでプラスチックゼロ宣言をアピール→協力してもらう→茅ヶ崎市民のプライドにする（茅ヶ崎でなぜプラスチック→海のマイクロプラスチック問題から）/サーファーのサーフボードが欠けたり流されたりする・海で遊ぶ人の浮き輪やサンダルなどが流される→環境に悪影響なので、海が観光資源になっている茅ヶ崎で考える必要がある/海を愛しているようで汚している可能性があることをこの宣言&活動から伝えたい</p>
--	--

(3) 討議3 「『関わり』から考える伝えるべき茅ヶ崎の環境」

討議3では、将来の環境イメージに向けて、今の私・私たちに何ができるかを討議。

これから私たちはどのように環境と関わり続けていくのか、そのために必要なことは何かを話し合い、今後どのような貢献や手伝いが可能かを討議。

グループ1	グループ意見
(1) 今の私・私たちに何ができるか、どのように関り続けるか	市のルールなど環境の情報を知る/ビニール袋を減らす(エコバッグを使う)/ごみをどうやって減らすか考えること/モラルを個人がどのくらい持つか仕組みを作る→自治会を作る(自治会の機能性は高い)/ごみ工場の見学の機会を設ける/情報公開や環境に関する教育現場を増やすことで市民全体が環境に取り組むことができるようになり地域の活性化につながる/もともと地域にある自治会を巻き込んでいろいろな意見を吸収しながら活動する/新しく住む人や分別できない人の責任感を正す/自治会を知らない・何をやっているのかわからない人がいるので教えてあげる(若い人に伝わるような方法、例えばLINEグループやハッシュタグなど)
(2) 今後の私たちには茅ヶ崎の「環境」に対してどのような手伝い・貢献が可能か	若い人も巻きこんで集まりやすい場・コミュニティを作って地域のまとまりをつくる(地域の自営業飲食店などを利用する)/自治会という古くからの堅いネーミングを変更し入りやすいようにする/「#タグで作る・つながるゴミコミュニティ！」

グループ2	グループ意見
(1) 今の私・私たちに何ができるか、どのように関り続けるか	子どもへのアプローチをする→学校を通して環境問題に取り組む(学校という場所は絶対に聞かなくてはいけない場所であるため影響力があるのではないか)→そうすることで親も一緒に取り組むことにつながり環境を考えることの活性化につながる/具体的に行政と市民の関係づくりができていくかが大切→関係づくりができていけばこれからも市民と行政でともに環境に関わることが可能になる/自分自身でできることに取り組む/マイストローを使う/飲食店で割り箸を使用していないところがある/マイバッグを使う/壊れた傘を使ってエコバックを作る/リサイクルをする/ごみの分別/エアコンの使用法・頻度など地球温暖化を意識して生活する/市民討議会のような場を増やすことで環境に対する意識を変えていく/意見交換の場を作る/親と子ども間で情報交換する/企業が取り組む/市民が市に働きかけをする/企業で社員を教育する
(2) 今後の私たちには茅ヶ崎の「環境」に対してどのような手伝い・貢献が可能か	市民がイベント的に環境と関わる機会があると良いのではないかと→そうすることで市民と行政の情報共有の場となるとともに、市民が環境に興味を持つ場になる/企業と行政で連携を取り、環境を意識したイベントを企画する→企業にとっては社会に対して良いアピールになるのと同時に、市民と行政をつなぐ橋渡しになり、良い相互関係を生むのではないかと/市民のコミュニケーションを増やすため市民討議会のような意見交換の場があれば貢献できるのではないかと→情報共有の場になる・生の市民の意見を聞ける・言いづらいことも言える・地域と地域をつなぐ可能性もある(市民間でも良い影響になる)/積極的に情報共有をする→同じ情報でも別の方法で伝えることが大切/時代にあった情報共有の仕方があるので時代にあった方法で情報共有をする必要があるのではないかと/市で取り組むことで市民の意識も変わるのではない

	か→市全体で取り組むことでごみの分別は改善できる/企業で社員を教育する→その取り組みが派生する/環境に優しい企業を誘致する/市長に働きかける
--	--

グループ 3	グループ意見
(1) 今の私・私たちに何ができるか、どのように関り続けるか	節電/沸かした湯をポットで保存→節水/自分で野菜など作物を育てる→スーパーに行く必要がない→プラスチックの削減/パルシステムの宅配サービスを利用時に使用した容器を洗ってから返却→プラスチック容器の削減/できるだけ自動車に乗らず自転車を使用する→排気ガスを抑える/LED の使用/新聞広告などの裏面を使う/紙の再利用
(2) 今後の私たちに茅ヶ崎の「環境」に対してどのような手伝い・貢献が可能か	マイボトルの使用を推進する→容器を安くすることによりさらに取り組みが広がるのではないかと/企業がエコに取り組み市民に参加を促す→商品のクーポン券がもらえればやる気が上がる/目に見える還元/人を集める手法を学ぶ→イベントや情報共有の場を設ける/民間の NPO を受け入れる/映像を使ってビジュアル的に子どもに環境問題を訴えかける→「ビーチクリーン」/誰がごみ処理などを担っているか知る/情報の共有 (SNS・Youtube・QR コードの活用) →次の世代を担う若者を対象としているため上記の情報共有のやり方は効果的ではないか/知識量によって環境に対する意識に差がある→幼少期から環境教育を充実させ意識を高める (例: 紙芝居などを用いた環境教育) /当事者意識を持つこと→生活の中でいかにごみの量を減らせるか/多少の締め付けは必要/家族間で情報共有を行う

グループ 4	グループ意見
(1) 今の私・私たちに何ができるか、どのように関り続けるか	海をきれいにしていくことはできるのか→「日本一プラスチックを使わない市」のようなスローガンを掲げて関わると楽しくできるのではないかと/具体的なスローガンがあると受け止めやすい/受け身では分からないので自発性・積極性を一人ひとりがもつ/ごみの分別をしている姿を子どもに見せる/マイクロプラスチックの事を話して興味をもってもらう/エコバックを持つ/リサイクルをしてあそび道具を作っている
(2) 今後の私たちに茅ヶ崎の「環境」に対してどのような手伝い・貢献が可能か	私の「ちょっと気になる」を発信する/一度経験してみる (活動やイベントなど) /子どもに教える場などが無い (発信する場が必要) /自治会に参加して行政に声が届く実感はあった (やってみて興味が出ることもある為、参加してみても良いのではないかと感じた) /情報 (ビーチクリーンのような) に気付くと終わっている/ ボランティア情報を得る手段を増やす/ちょっと手伝うボランティアの開設/SNS (まちなかで気になったことを UP する→一般の人でそれを見て手入れをする or 行政の人が手入れをするなど/SNS の活用を広める (若い人向けの事業を増やせたらいいのではないかと) /短期的に参加できるシステムのようなものがあると良い (参加しやすいのではないかと)

グループ5	グループ意見
<p>(1) 今の私・私たちに何ができるか、どのように関り続けるか</p>	<p>これから豊かにしていくべき孫の世代に伝えること(学校も協力してくれるとなお良 い)海やごみ問題を伝えたい/SNS で環境に対しての意見を集める・広げる・仲間を 集める/ドイツの友人がとても環境に対する意見が高いのでその意見をもらうことが できる/自治会に参加する→若い人や働いている人も関わりやすい自治会の在り方を 考える/カブトムシなど虫の取りすぎなどに注意を呼びかける(看板など)/市で注意 しているといいやすい環境になる/大人が子どもの見本にならないければ教えることも できない/ごみ袋は藤沢みたいに有料にしたりごみの引き取りを有料にしたりする/ 防災無線など環境活動を呼びかける</p>
<p>(2) 今後の私たちに茅ヶ崎の「環境」に対してどのような手 伝い・貢献が可能か</p>	<p>エコバック・マイボトルを使う/フライパンを洗う前に古紙で拭く/エレベーターを使 わない/生ごみをコンポストに入れる/仕事でパソコンから離れる時は電源を落とし たり、省エネモードにしたりする/燃費のいいものやエコな家電を買う/ごみを拾いな がら帰る/くぎを使わない建物づくり(海の家も…) /市民討議会のような機会を増や す/自治会のごみ拾いなどに参加する/活動の成果を数字にしてわかりやすくアピー ルする(何袋分のごみが集まりましたなど) /茅ヶ崎はイベントが多いのでイベント 後のごみ拾い活動をする</p>

(4) 参加学生の感想と意見

文教大学・国際学部生

1. 市民討議会の感想、印象

- ・休日に市民討議会に参加してくれる方がいることにとっても感激した。傍聴席にも市民の方がいて驚いた。
- ・色々な所属や年齢の方の多様な意見を聞くことができて勉強になった。
- ・積極的に発言している方が多く、とても良い市民討議会だった。
- ・市民の方の知識が深く、すばらしいと感じた（興味や関心のある人が来ているからだと考えられる）。
- ・環境という幅広いテーマだったが、市民の方々が想像以上に茅ヶ崎の環境について考えていることが理解できた。
- ・茅ヶ崎の海が好きだからこそ大切にしていきたいという市民ならではの思いが聞けて、自分が住むまちに誇りを持っていることが分かった。
- ・自分の住む場所について真剣に考えている方がこれだけいたら、市民同士で情報交換もできると思った。
- ・身近な話題を取り扱うことで市民一人一人が参加しやすく、また課題について考えやすい機会になると思った。
- ・「環境」という難しいワードにも関わらず、参加者の方は自分たちの身の回りの生活の話から話題を広げていた印象がある。
- ・市民の方の声を直接聞くことができて良かった。市や地域が抱える環境の課題を解決するためにも市民の声というものは信憑性が高く、必要なデータだと考える。
- ・市民同士の認識や考え方を広げていく場として大切だと考える。
- ・環境について情報提供の際 **Greta Thunberg** さんを知っている方が多かったことから環境について意識が高い印象があった。

2. 市民討議会の重要性について

- ・課題に向けた改善策を考えることも重要だが、それ以上に地域の方同士で知らなかったこと、異なった視点から見る問題点を共有し合っていた所は重要だと考える。
- ・地域に住む市民が参加することによって、問題点が明確化すると感じた。
- ・市民目線（住んでいるからこそ）の意見が出る。自治体だけでは気付けない課題などを知る機会である。
- ・同じ市に住んでいても、地域が違くと見える問題点も変わってくる。その問題について市民間で話し合うことで、同じ市に住む人の課題を共有できることは市民討議会の重要性だと感じる。
- ・行政と対立するのではなく協働する意識を持つきっかけになっているのではないかな。
- ・普段、「(市民である) 私たち」の意見を聞くことが難しい自治体は市民側の意見を聞く場であり、市民にとっては話し合いの場だから、この市民討議会を通して、誰もがよりよい茅ヶ崎市

を目指そうと意識する機会であると考え。議論することで、市民と行政のお互いが求めていることを達成できる可能性を高めており、そのために欠かせないものであると思った。同時にこの活動はやめるべきではないと思った。

- ・市民の人が話し合いに参加することで、より地域に近い目線でまちのことを考えられる。
- ・市政に市民の意見を反映させるために重要な場だと考える。
- ・年代、職業、性別、これまで歩んできた様々なものが違った人々が集まり、決められた議題について話し合うことは視野を広げることにつながるのではないかと思った。ただし、参加者に多様な意見を述べてもらうための工夫や、抽象的な話題でも参加者に発言してもらう進行の仕方については、今後も検討を続けるべきだと感じた。
- ・声を上げることができるので、市民討議会に参加することは重要であると考え。また、市民討議会のあとも、今回の参加者が継続的に「参加」していくことが大事ではないか。そして、市は継続的に参加してくれる方を大切にしていけるべきだと思った。

3.市民討議会の運営・企画について(継続、伸ばしていくべきところ・改善すべきところ)

- ・市民討議会に関われる機会は滅多にないので、学生が実行委員として活動していける状況を継続してほしいと思った。
- ・情報提供の内容が難しい場合には、市民目線で語る別の工夫も大切だと感じた。
- ・話し合いの時間とまとめの時間をしっかりと分けるよう、ファシリテータがコントロールすべきだと思った。
- ・学生（ファシリテータ）が語彙力不足と思われぬよう、知識やファシリテーション技術などをしっかり学びたい。また、その知識や技術を次の学年、その次の学年へと受け継いでいくべきであると思う。
- ・スタッフのケータイ、スマホの使用制限は、市民討議会に集中するという意味ではとても良かった。これからも継続してほしい。しかし、ルールを守らない人もいたので、約束を徹底すべきだと感じた。
- ・付箋を多く書くことは、議論の経過を把握し、残すことなので、今後も継続すべき。
- ・アイスブレイクはよかった（参加者間の距離が近くなった）。
- ・討議中の発言回数がばらついていたので、発言の少ない人から声を引き出せるように進行すべきだと思った。
- ・休憩をとっているスタッフが、討議時に付箋を貼るサポートをしてくれたのはとても良かった。今後も、スタッフに休憩時間があったとしても、常に会場をサポートする心構えで会場に控えているのが良いと思った。

4 アンケートの結果

(1) 事前アンケート (※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業		
①	農業・漁業	0
②	自営業・経営者	2
③	自由業	1
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	4
⑥	専門技術職	4
⑦	事務職	5
⑧	販売・サービス職	3
⑨	製造・労務職	0
⑩	パート・アルバイト	1
⑪	家事専業	2
⑫	学生	1
⑬	無職	6
⑭	その他	2

設問 2, 家族形態		
①	単身	4
②	(自身の)夫婦のみ	11
③	未婚の子どもと同居	8
④	既婚の子どもと同居	0
⑤	親世代と同居	5
⑥	三世代以上が同居	0
⑦	その他	2

設問 3, 住居形態		
①	持ち家 (戸建)	20
②	借家 (戸建)	0
③	集合住宅 (分譲)	3
④	集合住宅 (賃貸)	7
⑤	公営住宅	0
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	1年未満	2
②	1年～5年未満	7
③	5年～10年未満	2
④	10年～20年未満	2
⑤	20年以上	12
⑥	生まれてからずっと	7

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向		
①	住み続けたい	12
②	できれば住み続けたい	6
③	できれば転出したい	1
④	転出したい	0
⑤	わからない	11
⑥	その他	0

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く)		
①	2時間未満	0
②	2～4時間未満	7
③	4～7時間未満	11
④	7～12時間未満	4
⑤	12時間以上	8
⑥	その他	0

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのよう感じましたか		
①	面白そう	16
②	良い取組み	10
③	新しい取組みへの期待	11
④	選ばれてよかった	6
⑤	なぜ討議をするのか不明	1
⑥	実際に何をするのか不安	3
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	2
⑨	その他	1

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか		
①	討議会が興味深かった	14
②	テーマが興味深かった	5
③	日程的に都合がよかった	5
④	市のために協力したかった	10
⑤	市民の役割として大切だと思った	10
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	8
⑦	市から手紙が届き参加しなければなら ないと思った	1
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	2
⑨	その他	1

設問 7, ⑨その他
 ○討議会が市政に反映されるなら良い取り組みだと思った。

設問 8, ⑨その他
 ○町内会など他の枠組みとのつながりが見えない。

設問 9, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか		
①	必要だと思った(参加はするが必要と感じた)	5
②	不要だと思った	14
③	その他	10

設問 9-1, 【設問 9】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	2
エ	謝礼 10000 円	1
オ	謝礼品 1000 円程度	0
カ	謝礼品 3000 円程度	2
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 9, ③その他
 ○市民討議会の目的が市民の意見を吸い上げることにあるなら謝礼は必要では。
 ○基本的にはいらないが、交通費としてや気持ち的にはあっても良い。
 ○交通費の実費が出ると参加しやすい方がいると思います。
 ○市政に役立つ案が出たら感謝状を贈ればよい。
 ○交通費を支給してほしい。
 ○名誉職のような方に多額の謝金を払うなら、交通費程度の支給があってもいいのでは・・・。
 ○交通費、飲食代はあるといいが、それ以外はさほど必要と思わない。

【テーマである『環境』について】

設問 10, 環境を意識するのはどのようなときですか。(いくつでも○)		
①	前問のような方法で情報を入手したとき	2
②	家庭のごみや資源を分別するとき	18
③	ごみの散乱やポイ捨てをみたとき	17
④	里山などの身近な自然にふれたとき	13
⑤	海や川など、水辺の自然を感じたとき	16
⑥	まちなかでみどりをみたとき	5
⑦	ゲリラ豪雨や川の増水、大雪などに遭遇したとき	19
⑧	猛暑や寒波に遭遇したとき	9
⑨	農・水産物の不作や不漁で、価格が高騰するとき	7
⑩	排気ガスや公害が気になるとき	7
⑪	その他	2

設問 10, ⑪その他
 ○樹木が切り倒されるのを見る時。新聞ニュースで「環境」に関する話題を目にする時
 ○里山の自然を破壊して”里山公園”を造った時

設問 11, 「気候の変化」を感じる時はどのようなときですか。(いくつでも○)		
①	ゲリラ豪雨や川の増水が目立つとき	21
②	大雪など雪害が目立つとき	8
③	夏の最高気温が高いとき	25
④	冬の気温が高いとき	9
⑤	天候不順で農作物が不作になったとき	10
⑥	水産物の不漁が続くとき	6
⑦	春や秋が短く感じたとき	14
⑧	夏に屋外で運動や活動をしているとき	8
⑨	熱中症などで体調を崩した人の報道や話を聞いたとき	8
⑩	花や実が実る時期、紅葉のシーズンが変化したと感じるとき	6
⑪	寒い時期には見かけなかった昆虫や動物をみたとき	4
⑫	まちなかで見かける服装の変化を感じたとき	2
⑬	テレビなどマスコミ報道などを通じて「気候の変化」に関するニュースなどを目にしたとき	14
⑭	天気予報で聞きなれない気象用語を耳にしたとき	3
⑮	その他	3

設問 11, ⑮その他	
<input type="checkbox"/>	台風の強大化、海外でも異常気象の多発を見聞きすることが増えた
<input type="checkbox"/>	朝起きた時に窓を開けたときの温度、湿度、におい
<input type="checkbox"/>	南方系の昆虫を見た時

(2) 事後アンケート (※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問 1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言えば そう思う	い どちらとも言えな	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	22	7	1	0	0
B	討議の進め方はわかりやすかったですか	10	13	6	1	0
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	13	10	4	2	0
D	討議 1 のアイスブレイクで話しやすくなりましたか	16	9	3	1	0
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	13	11	5	0	0
F	討議 1 のテーマは、話しやすかったですか	16	8	4	2	0
G	討議 2 のテーマは、話しやすかったですか	13	11	5	1	0
H	討議 3 のテーマは、話しやすかったですか	8	12	7	3	0
I	討議を通して自分の考えは深まりましたか	13	15	2	0	0
J	グループ発表は、全員の意見が十分反映されましたか	10	14	4	1	0
K	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	17	11	2	0	0
L	市民討議会は市民の声を反映されるのに有効な手法と感じましたか	9	12	7	1	0
M	討議に参加して、市民が「まちづくりの主演」という印象が強まりましたか	7	14	7	2	0

設問 2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか		
①	円滑に進んだ	12
②	やや円滑に進んだ	14
③	どちらとも言えない	3
④	やや行き詰まったときがあった	1
⑤	何度も行き詰まった	0
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

討議 1～3 のテーマをもっとわかりやすく分けた方が良いと思いました。同じような意見になってしまいます。／もう少しテーマがしぼれていればよかったです。 (5件) ／やはりグループ討議が良いと思います。／意見のバラツキの集約／テーマによっては脱線することが多かった。／ファシリテーターの能力の個人差が大きい。大人を仕切るのだからそれなりに有能なメンバーを選出すべき。／グループをシャッフルした前後で、進行役の技量に差があると感じた。／今で大丈夫だと思います。あえてあげるとしたらゴミデーターや他市の具体的な取り組み資料を事前に頂けるといいと思いました。

設問 3, 討議の際、1つのテーマについて平均して何回くらいお話しされましたか		
①	10回以上	2
②	7～9回	8
③	4～6回	10
④	1～3回	8
⑤	0回	0
⑥	わからない	2

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか (〇はいくつでも)		
①	さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	22
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	21
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	17
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	2
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	1
⑥	その他	0

設問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか		
①	日程	18
②	内容・テーマ	21
③	謝礼の有無と金額	1
④	案内があればぜひ参加したい	9
⑤	条件を問わず参加しない	0
⑥	その他	0

設問 6, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか		
①	必要	9
②	不必要	20

設問 6-1, 【設問 6】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	1
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	4
エ	謝礼 10000 円	1
オ	謝礼品 1000 円程度	1
カ	謝礼品 3000 円程度	0
キ	謝礼品 5000 円程度	1
ク	謝礼品 10000 円程度	1

設問 7, 今後、市民討議会をはじめとした市民参加(市政への参加)について、どのようにお考えですか		
①	積極的に参加したい	6
②	案内があれば参加したい	24
③	参加しない	0

設問 8, 市民討議会に参加して感じたこと、市民討議会に期待することなど、自由にご記入をお願いします

非常に良かった／非常に楽しく参加させていただきました／普段知り合えない方とも話すことが出来てとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます／よい機会を有難うございます。茅ヶ崎市民の意識が高まりました／市民とはじめて会話をしたことは市民として共感を持った／藤井先生のお話もとても楽しく興味をもてました。／楽しかったです。ありがとうございます。報告書を楽しみにしています。／環境問題が大きすぎてあまり意見がまとまらなかった／とても意識高い人が参加されていて驚いたと同時にぜひ行政にも反映してほしいと思った／茅ヶ崎への愛着／初めて参加。これまで開催されていたことも知らなかったのですが大変有意義でしたテーマをもっとしぼって具体的な話もしてみたいです／様々な方の意見を伺って大変参考になりました。／ぜひ市政に反映してほしい。進行役が発表してほしい。リーダーが発表するのはきつい（意見がまとまりきらない）／様々な年代の方がいてとても刺激的でありました。また女性のマシンガン発言はすごいと思いました／抽象的なテーマでなくもっと的を絞ってそのテーマごとに回数を増やして開催してほしい。環境というテーマは大きすぎる。プラスチックだけ、ゴミだけ、などの方が効果的。地震対策、災害対応、生物の生態系保全、交通問題などなどいくらでもテーマが絞れる／子育て世代なので、待機児童・学童・通学路整備・いじめ問題等について討議できると良いです。／楽しくて有意義な時間を過ごすことができました。／もう少しテーマを絞って行った方がよい。ゴミ問題、海岸

設問 9, 市民討議会を通して、環境保全や住みやすい環境への意識の度合は高まりましたか。(一つだけ○)

①	高まった	22	②	変わらない	6	③	低くなった	0
---	------	----	---	-------	---	---	-------	---

設問 10, 市が重点的に取り組むべき環境の対策はどれだと思いますか。(○はいくつでも)

①	工場等事業所からのばい煙、排煙、騒音・振動、悪臭など	2
②	自動車からの排煙、騒音・振動、悪臭などの対策	6
③	海や河川等の水質改善	13
④	土壌汚染や有害化学物質への対策	8
⑤	まちの緑化の推進	12
⑥	公園や広場などが多いゆとりのあるまちづくり	19
⑦	ポイ捨てや不法投棄の防止などのまちの美化推進	12
⑧	まちの景観の保全	11
⑨	文化財及びその周辺の自然環境の保全	11
⑩	里山などの自然の保全	13
⑪	海や川などの水辺の環境保全	16
⑫	動植物の保全と生き物の住める環境づくり	9
⑬	農地の保全	4
⑭	地場産農産物が身近に手に入る機会の創出	7
⑮	歩きやすく自転車が利用しやすいまちづくり	16
⑯	公共交通の充実化	8
⑰	省エネルギーなどの地球温暖化対策	10
⑱	太陽光や風力など再生可能エネルギーの活用推進	9
⑲	ごみの減量・分別やリサイクルの推進	14
⑳	環境教育・環境学習の推進	18
㉑	環境イベントや情報発信などによる意識啓発の推進	14
㉒	市民や事業主が主体となっていく環境活動への支援	14
㉓	特になし	0

設問 8, 市民討議会に参加して感じたこと、市民討議会に期待することなど、自由にご記入をお願いします

環境学習／現在自分が参加しているまちぢから協議会で今後も環境問題について発信して行きたいと思えます／ゴミのリサイクル・分別・減量（8件）／興味をもつ、意識を高める／エコバッグ（2件）／こういった会議に参加する車が重要かと考えます／情報を発信する（SNS等）／自宅に緑を増やす／省エネ、節約からつながる環境保全／フードロスへの取り組み

(3) 不参加者アンケート 令和元年度市民討議会不参加者アンケート集計（有効回答数479）

（※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない）

年代		
①	20歳代以下	80
②	30歳代	107
③	40歳代	94
④	50歳代	75
⑤	60歳代	51
⑥	70歳代	46
⑦	80歳代	24
⑧	90歳代以上	2
無回答		0

性別		
	男性	176
	女性	280
無回答		23

設問1 市民討議会について、知っていましたか		
①	よく知っている	3
②	少し知っている	37
③	言葉を聞いたことがあった	111
④	初めて知った	328
無回答		0

設問2 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか (複数回答可)		
①	面白そうに思った	107
②	不思議に思った	187
③	分からない	138
④	その他	38
無回答		9

設問2 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか ④その他
<p>10年若ければ参加できたと思う／内容が不明確で具体的にしてほしい／市民が意見を言える場があることに驚いた／本当に意見が反映されるのか疑心暗鬼／こうした議会があることは非常に望ましいことと思います／面白そうですが時間が長い／知らない人ばかりの討議会には行きたくないと思った／</p> <p>どの様に討議会が進むのか第三者視点から見たいと思った／本当に市民の声が反映されるのであれば意義のあることかと思った／そうゆうものがあつたのかと思った (2件) /</p> <p>こんなことやってたんだ／アンケートかなと思った／他市でやっているのだから茅ヶ崎でもやっているのかと思った／みんなで意見を出し合い話す場があるのは良い事だと思う／</p> <p>市民の声をダイレクトに聴取して生かしていくことは良いと思った／もう少し若い時で元気だったらと思いました／アンケート、インターネットの方が本当の意見が集まるのにと考えた／</p> <p>申し訳ありませんが不安に感じ面倒に思ってしまった／なぜ自分のところに届いたのか？と思った／苦手／オンブズマン・市民請求・NPO・イデオロギー／アンケートには参加しないといけないかな。と／なにも感じない／良い事だと思う (3件) /ビックリした (2件) /驚いた (2件)</p>

設問3 スケジュールについて (複数回答可)		
①	終日では長時間に感じる	186
②	終日時間を費やすことはできない	176
③	土・日曜日は都合が合わない	76
④	今回は都合が合わない	188
⑤	その他	41

設問3 スケジュールについて ⑤その他	
<p>先の予定がわからない／興味なし／土日仕事の為／1ヶ月以上前に通知／1歳児の子どもがいる為／終日では都合がつけにくい／通院のため／入院中なので／日曜休みしかない為正直長時間過ぎるから行きたくない／現在少し歩行困難の為外出に難あり／出席はしない／高齢の為／</p> <p>小さな子どもがいる、また出産間近／難聴の為聞き取るのに疲れる／何回かに分けて短時間にした方がよい／前はボランティアで参加して貢献したのもういいかな／9月より転出するため／</p> <p>子どもが小さい期間は参加は難しい／子どもが0歳で日中みてもらえる人がいないから／娘の学校行事と重なってしまった為／2時間が限界ではないか／市民の意見が反映される事は望ましいが長時間の出席等できない。もっと気軽に参加できれば良いと思う／交代勤務、休みが不定休の為都合がつかない／子育て中なのでどの時間でも無理／わからない／出る気がない／高齢で外出できない（2件）／病気療養中（3件）／外出できない（2件）／</p>	

設問4 今回参加されなかった理由は何ですか (複数回答可)		
①	日程が合わなかったから	270
②	興味のないテーマだったから	53
③	行政の事業には興味がないから	27
④	面倒だから	91
⑤	謝礼がないから	41
⑥	その他	117

設問4 今回参加されなかった理由は何ですか ⑥その他	
<p>足腰が痛み体力的に無理なため／体力が無い／通院のため／持病があるので／健康上の理由／病気の為（6件）／体調不良（5件）／難聴の為聞き取るのに疲れる／視覚障害の為／入院中なので／高齢で集中することが難しい／高齢の為（5件）／多忙（4件）／主人の病気の介護の為／主婦で家事、仕事等ある為／仕事の為（3件）／現在富山県で仕事をしているため都合がつかない可能性が高い／海外留学中の為（現在は一時帰国中）／9月より転出するため／場所が遠い／出産したばかりなので／小さい子どもがいるため（13件）／子どもを預けてまで参加できない／子どもとゆっくり過ごせるのが土日だけなので子どもとの時間を優先させたい（3件）／障害の子がいて終日は無理／子どもから目が離せないから／2歳未満の託児サービスが無い為参加できません。ひざの上では集中して討議ができません／小学校の運動会がある為／時間が長すぎる（13件）／長時間家をあけられないから／抽選なので日程を合わせるのが難しい／個人的理由による／是非若い人たちに参加してほしい／義父の一周忌のため／</p>	

転入してから1年ですが、まだ茅ヶ崎市のことをよく知らない為／あがり症の為人前での発言が苦手／知らない人ばかりの討議会には行きたくないと思った／討議、グループに分れての話し合いに負担（プレッシャー）を感じたから／論客に論破され恥をかく／興味無いとまでは言わないけれど、うまく話せる自信がなくて／少人数のグループに分れての討議は苦手なので／苦手だから／討議は苦手（2件）／人見知りのため（2件）／市の対応は改善する姿勢に欠けるから／有意義に思えなかったから／どのくらいその討議結果が反映されるか不透明。進め方やテーマ（具体的）が当日では何の準備も出来ず参加するのが不安／私では力不足だと思いました（2件）／自分には荷が重そうと感じたため／どの程度政策に反映されるのかわからないから／現状の環境に問題を感じていない／テーマが漠然・あいまいなので具体的にしてほしい（6件）／興味があるかないか判断できませんでした。環境というテーマが漠然としていて討議内容が想像しにくいです。市、まち、としての課題、今問題になっていることの具体例をいくつか提示していただけたら市民のひとりとして討議に参加してみたいと思うかもしれません。／興味はあるが知識が無いから／

設問5 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか
(複数回答可)

①	日程が合えば、参加する	158
②	興味のあるテーマならば参加する	215
③	謝礼等があれば参加する	79
④	できれば参加したくない	120
⑤	その他	63

設問5 で③謝礼等があれば参加するを選択をした方は、どの程度の謝礼が望ましいですか

ア	謝礼 1,000 円	11
イ	謝礼 3,000 円	14
ウ	謝礼 5,000 円	26
エ	謝礼 10,000 円	20
オ	謝礼品 1,000 円程度	8
カ	謝礼品 3,000 円程度	7
キ	謝礼品 5,000 円程度	5
ク	謝礼品 10,000 円程度	4

設問5 次回、このようなイベントの案内が届いたら、どうしますか。 ⑤その他

参加しない・できない（22件）／興味が無い（2件）／そこまで積極的になれない／無駄だと思う／体調次第で参加したい（5件）／子育てや仕事が落ち着いたら参加したい（3件）／託児サービスが充実していれば考えます／場所、時間、テーマによる（3件）／2時間～3時間程度なら参加を検討（6件）／もう少し短時間（半日等）であれば検討する／できれば平日に。／討議は苦手なのでなにか違う形だったら考えるかもしれない／アンケートなら協力する（3件）／書面にて意見を述べる場を希望します／カフェとかで気軽な感じのディスカッションできるイベントが良いなと思います。／参加後、結果がどう活かされるか明確で、有意義と感じられれば参加する／謝礼制度には疑問を感じる／謝礼があればこそ、真剣な討論ができるだろう／市民討議会は遊びではなく市の仕事なので賃金を支給すべきです／500円程度の謝礼があれば嬉しい（2件）／その時にならないと分からない（3件）

設問6 環境に関する情報は、どのように入手していますか（複数回答可）		
①	広報紙をみて	218
②	市のホームページをみて	37
③	市が主催するイベントの参加して	10
④	テレビなどマスコミ報道で	274
⑤	市以外のWEBサイトをみて	42
⑥	タウンニュースなど地域のフリーペーパーをみて	131
⑦	Facebook や twitter、Instagram など SNS からの情報で	97
⑧	ご家族やご近所、職場の同僚、友人などとの会話の中で	162
⑨	仕事や家事、学業など、生活を送る上で	151

設問7 環境を意識するのはどのようなときですか。（複数回答可）		
①	前問のような方法で情報を入手したとき	166
②	家庭のごみや資源を分別するとき	228
③	ごみの散乱やポイ捨てをみたとき	242
④	里山などの身近な自然にふれたとき	71
⑤	海や川など、水辺の自然を感じたとき	171
⑥	まちなかでみどりをみたとき	60
⑦	ゲリラ豪雨や川の増水、大雪などに遭遇したとき	218
⑧	猛暑や寒波に遭遇したとき	201
⑨	農・水産物の不作や不漁で、価格が高騰するとき	137
⑩	排気ガスや公害が気になるとき	125
⑪	その他	19

設問7 環境を意識するのはどのようなときですか。 ⑪その他		
<p>飼い犬の道路での排尿を見た時／知人がその様なテーマのイベントに参加したと SNS で教えてくれた時調べたりします／プラのごみを出す時中身が汚れたまま出されてる家／プラ削減と言ってるのにタピオカなどで大量に出してる矛盾があるとき／家庭菜園で毎年の野菜の育ち方、収穫量の違いを感じる時／テレビを見て犬ぞり隊が溶けた氷の上を走った映像を見た時／環境の対象があいまいで質問に答えづらい／海に行き砂浜が減少しているのを見た時／近所の小学生がごみの分別の勉強をしたと聞き、家でごみを少なくする努力をしたと聞き、我が家も頑張ろうと感じました／住宅地のセメント工場の騒音／電気の無駄使いや、野生動物が人の住んでいるところへ侵入してきた時／香料のきつい臭いがそこかしこでするとき／バーベキューのゴミがまちに捨てられカラスに荒らされてた。プラスチックゴミの多さ。公園を作って水や緑をまちに増やしてほしい。緑が減り住宅が増えるのを感じたとき。／他にも動物の生態、庭の草木や森羅万象において環境を意識しています。／仕事上／大学で環境についての授業があった時／茅ヶ崎海岸のゴミの多さにいつも驚き残念に思う。マナーの悪さ／農薬、除草剤や殺虫剤を使用、使用を考えた時、使用後の影響を考えた時。関連ニュースを見た時／子ども達の将来を考えた時</p>		

設問8 「気候の変化」を感じる時はどのようなときですか。(複数回答可)		
①	ゲリラ豪雨や川の増水が目立ったとき	313
②	大雪など雪害が目立つとき	73
③	夏の最高気温が高いとき	377
④	冬の気温が高いとき	133
⑤	天候不順で農作物が不作になったとき	190
⑥	水産物の不漁が続くとき	111
⑦	春や秋が短く感じたとき	154
⑧	夏に屋外で運動や活動をしているとき	104
⑨	熱中症などで体調を崩した人の報道や話を聞いたとき	185
⑩	花や実が実る時期、紅葉のシーズンが変化したと感じるとき	112
⑪	寒い時期にはみかけなかった昆虫や動物をみたとき	67
⑫	まちなかで見かける服装の変化を感じたとき	45
⑬	テレビやマスコミ報道などを通じて「気候の変化」に関するニュースなどを目にしたとき	275
⑭	天気予報で聞きなれない気象用語を耳にしたとき	59
⑮	その他	7

設問8 「気候の変化」を感じる時はどのようなときですか。 ⑮その他		
畑で作業するとき日差しの強さを冬でも感じる時／気温、気圧の変化が体調に影響が出た時／気候は変化するものと考えている／今までいなかった蚊や、虫の病気や存在を知った時／春、夏に雪や雹が降った時／山にいるはずの熊や猿が食べ物を探して山から降りてきているニュースを見て／見慣れない虫を見かけるようになった南方から北上してきたのでしょうか？／		

設問9 「気候の変化」に対応するために実践していることはどのようなことですか。(複数回答可)		
①	熱中症防止などの対策をしている	334
②	道路や地面に打ち水をして、暑さを和らげる	35
③	クールビズを心がけている	123
④	ウォームビズを心がけている	57
⑤	みどりのカーテンやよしず、すだれ等で日陰をつくる	94
⑥	冷房や暖房など、家電を効果的に活用している	393
⑦	急な天気の変化を知るためのアプリなどを活用している	137
⑧	体が温まる食事または体を冷やす食事を増やす	111
⑨	ドアやサッシから暖かさや冷気が逃げない工夫をする	114
⑩	その他	10

設問 10 「気候の変化」に対応するために実践していることはどのようなことですか。 ⑩その他

昔から井戸を守り、災害時に役に立つようにしている／体感ではなく、温湿度計を活用している／はおりものを持参し、気候の変化に対応できるようにしている／冷房を使わないようにしている／昭和52年から住んでいますが昔はクーラーが無くても大丈夫でした。けれどここ10年ぐらいクーラーがないと過ごせないと感じています／アプリはテレビの情報よりたいへん役立つ／ベランダにタープをつけた／着替えを用意する／筋力トレーニング等、体力作り。衣服の工夫／植物を多く育てる／

5 講評

はじめに、市民討議会の立ち上げ(2009年)に参加した一人として、10年後に再び情報提供者として参加させて頂いたことを大変幸せに思い、これを継続されてきた茅ヶ崎市と永年リーダーを担われてきた文教大学の山田修嗣教授、ならびに常に組織を挙げて参加頂いてきた公益社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆さんに心より敬意を表したいと存じます。

今回のテーマは、「これからにつなぐ『環境』を語ろう～2030年の私たちにどのような『環境』を届けますか?～」というものです。市民の側から、地域の「環境」のあり方を提案してもらうという目標はいささかチャレンジングなものに見え、私には荷が重いものでした。

なぜかといえば、日本では環境問題は1960年代から70年代に公害問題として大きな社会でのトピックとなりましたが、その後は、ダイオキシン問題やゴミ戦争など、なにか特定の問題が浮上しない限り、環境への関心や活動はそれほど焦点となる関心にはなっていないです。もちろん、温暖化のような“忍び寄る危機”を思わせる大きな環境問題が今日のテーマであるはずですが、五感で感じることができない、専門的で分かりにくい、自分たちのやれることから遠い、まだ先のこと、などの理由からなかなか高い関心を維持することができていない現状にあるといえます。

市民討議会では、①まず参加者各自が抱く“環境”への関心を挙げてもらい、その理由やあるべき姿(あるいは現状の課題)などを語ってもらう、②どうしたら大切にしたい環境を次につなげられるかを議論する、そして③グループで環境テーマを一つに絞って、それをもとに市民(わたしたち)が参加してできる取り組みやその限界をまとめて頂く、という手順で議論が進められました。

情報提供者としては、①では環境という概念の変遷や現在の“環境”への関心の変化を示す中で、②現代の“環境”問題の解決にとって市民の参加(声を上げることと自律的な活動を進めること)がいかに重要な意味を持つに至ったか、③高齢化などに伴う茅ヶ崎での地域コミュニティーの課題とも併せ、環境問題に対する新しい参加の形態、を参加者の討議に先立って提示し、できるだけ議論を誘導しないことを心がけました。

当日の参加者の議論をどうまとめられるのか?その講評と言うよりは感想あるいは印象になってしまっていますが、以下のようにまとめたいと思います。

まず、参加者の「市民」としての振る舞いのポテンシャルの高さが挙げられます。無作為抽出で選ばれた、特別公の場で発言することに慣れていない参加者が、6人程度のグループの中ではこれほど“語り”、“議論する”という姿には、これまでの市民討議会同様、いつも感心させられます。また、情報提供でも申し上げた「市民の参加の梯子」を借用すれば、行政サービスに対して顧客(Customer)のように振る舞う態度から、よりパートナー(Partner)としての、さらには行政サービスが不在でもその補完的役割を果たそうとする市民(Citizen)としての態度という構

図の中で、少なくとも行政の責任のみに終始する顧客的なメンバーは見当たらず、市民の側からの“政策“が提言されるなど、より市民参加の理解が進んできたとの感想を持ちました。

しかし、これらのポテンシャルの高さが、実際に市民が声を上げる、あるいは地域の自律的な活動が生まれる、という形にまでは十分至っておらず、茅ヶ崎の市民参加は質、量ともに“まだまだ”と言わざるを得ません。たとえば、市の多くの協働は依然「行政協力」の域を出ておらず、今後は行政の後押しがなくとも自律、つまり市民同士で議論をして問題解決に当たるなどの活動がどうしても必要だと思います。

もうひとつ、今回の参加者の議論が“自分を変えることができる”あるいは“具体的で結果が可視化できる”といった視点に向く傾向が見られたことです。グループ討議での5グループがいずれもゴミ・リサイクルの問題や環境教育などを共通のテーマに掲げたことは、住環境や交通などのテーマはより広範な合意や協力を必要とするテーマで自分では変えられないと考えているからではないでしょうか。

自律性の欠如や、より広範な合意を取り付けることはいずれも日本社会が弱い部分であり、茅ヶ崎に特有なことではないかもしれません。しかし、社会の格差拡大を背景に、戦後の市民参加や合意を重ねる民主主義などの積み上げてきた資産が吹き飛んでしまうような強権的な政治スタイルが台頭する中で、皆の前で声を上げ、不特定多数のためになにかを貢献（活動）するスタイルを確実に社会に根付かせる必要性は決して失われたいと考えます。

文教大学名誉教授
藤井 美文

6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 令和元年度第1回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（5月14日）
市民討議会テーマ内容の説明、実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討。
- (2) 令和元年度第2回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（6月25日）
抽出する市民の数及び年齢層等の決定、市民討議会全体テーマの決定、招待状の内容の検討、情報提供者の検討。
- (3) 令和元年度第3回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（7月29日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、当日のスケジュールの検討、情報提供者の決定。
- (4) 令和元年度第4回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（8月27日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの決定、当日のスケジュールの検討、事前・事後アンケート内容等の検討。
- (5) 令和元年度第5回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月10日）
「模擬討議会」の実施。討議テーマの最終確認、当日のスケジュールの最終確認、事前・事後アンケートの最終確認。
- (6) 市民討議会開催（10月26日）

あとがき

本年度第一回目の市民討議会を令和元年10月26日に開催いたしました。今回の市民討議会では、「これからにつなぐ『環境』を語ろう～2030年の私たちにどのような『環境』を届けますか?～」をテーマに話し合いました。久しぶりの開催会場となった高砂コミュニティセンターで、緊張と不安もありましたが、参加者・運営者全員が一丸となり、茅ヶ崎市の将来を見据えて討議を行い、有意義な時間とすることが出来ました。

今回テーマとなっている「環境」は、日本のみならず世界的に注目を集めているワードの一つといえます。「茅ヶ崎市」というと「海」をイメージする方も多いと思いますが、「海」の環境問題については、参加者の皆様からも多くの意見が出ていました。他にも、足腰の悪い独居の高齢者の増加に伴い、家庭ゴミを近くの集積場まで運ぶことが難しいケースが出てきているなど、今後対応が求められていくような話題も挙がっていました。

今回の市民討議会においては、20代～70代と幅広い年齢層の参加者にお集まりいただきました。年齢・性別に関係なく、環境について日ごろの生活に基づいて話し合い、ともにその解決策を考える、貴重な機会となりました。

この市民討議会を開催したことで、茅ヶ崎市民の方々が、環境問題に関心を持っていらっしゃることを改めて感じることができたと共に、これからより一層関心をもって議論を深めていくべきテーマであると感じました。

今回の市民討議会に参加いただいた方々には、討議した内容を、近隣の皆様等に少しずつでもお伝え頂けたらと思います。それにより、この度話し合った内容が参加者だけのものではなく、茅ヶ崎市全域で取り組んでいける課題となり、今回討議頂いた意見が改めて、茅ヶ崎市の将来に繋がることと思います。そして、我々実行委員会といたしましては、今後も継続して、市民の皆様が意見を述べ、討議できる場を設けていくことを大切にしていきたいと思っております。

最後に、今回参加して頂いた皆様には、貴重なお時間を頂き、心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
門馬 大介

令和元年度第1回茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

令和2年3月発行

編集・発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会